

ブランディングに成功し ネットで4ヵ月待ちの人気商品に成長

課題

商品化のノウハウがなく 人手不足で利益に伸び悩み

へんないも屋は、2017年に創業。滋賀県湖南省にある湖南省市民産業交流促進施設「ここびあ」の厨房を借り、地元の野菜等を使用した惣菜製造・販売をしているほか、人気商品の熟成焼き芋を缶詰加工業者へも卸している。

同店が販売する惣菜は大変評判がよかった。しかし、経営者一人が原材料の仕入れから加工まで一貫して担当していたため、取引の依頼があってもなかなか対応ができず、慢性的な人手不足に悩まされていた。

さらに、開業2年目からは厨房を借りていた「ここびあ」の家賃が発生し、利益が激減。同店が借りている施設「ここびあ」への客足も伸び悩み、さらなる利益低下を招いていた。惣菜のひとつとして販売していた熟成焼き芋は人気が高かったが、これを商品化して売り出すノウハウがなく、大量販売で利益を出そうにも、量産する設備も整っていなかった。

支援

補助金と専門家派遣を活用した 商品のブランディングに成功

相談を受けた湖南省商工会は、ブランディングで熟成焼き芋の商品価値を高めることを提案。専門家やデザイナーの派遣を行い、ネーミングや商品形態、パッケージの見直しを行った。さらに、しが新事業応援ファンド助成金、小規模事業者持続化補助金などの申請支援を行い、補助金を活用して機械設備を導入。賞味期限を決めるための菌検査や成分検査の実施、パッケージやパンフレット、POP、のぼりなど販促物を作成し、販路先を増やすための準備を整えた。

市内事業者とのマッチング支援、ネット販売の開始、商談会出展支援（5件の成約）、「全国おやつランキング」（結果：全国3位）や百貨店での催事等への出店支援による知名度の向上など、商工会の積極的な販路拡大支援の取り組みやPR活動の成果が実を結び、熟成焼き芋「へんないも」が各種メディアで取り上げられるようになり、売り上げが当初の5倍以上、一時ネット販売では4ヵ月待ちになるなど、さらに人気に拍車がかかる好循環になっている。

添加物を一切使用しない商品は、離乳食から介護食まで使用できることから、非常食としての需要も高く、他社と協力



人気商品の熟成焼き芋「へんないも」

し缶詰化も実現している。また、取引先農家の食品ロスとなっていた規格外のサツマイモを活用した商品開発も進んでいる。今後の課題としては、後継者の採用も含め人材育成をすすめることと、受注生産体制の強化を整えていくことが必要である。

支援の経過

期間	支援内容
2017年6月～ 2018年3月	熟成焼き芋商品化のマーケティング指導
2018年1月	熟成焼き干し芋の開発にともなう事業計画の策定
4月	商品化・販売戦略に向けた事業計画の策定、 商標登録出願支援
9月	イオン高の原店「近江フェア」出展支援
10月	食の展示商談会出展支援
11月	全国おやつランキング出場、HPでの販促
11月～ 2019年2月	プレスリリース、メディア（新聞社6社、雑誌2社、TV3社）対応
2月	しがちゅうしん食の商談会支援

会社概要

会社名：へんないも屋
住所：滋賀県湖南省市岩根4528-1 ここびあ内
電話番号：0748-60-9565
URL：<http://www.shokokai.or.jp/25/>
代表者名：社博之
創業年：2017年
従業員数：1名（パート）
商工会名・担当者名：湖南省商工会・原塚美奈子